

令和7年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・4 学年では、活用力、思考・判断・表現の観点での達成率が、目標値を大きく上回った。課題発見・既習事項の確認・課題解決というプロセスや、話し合いによりお互いの考えを交換する活動を継続してきたことが成果につながったものと考ええる。
- ・データの読み取りや活用に関する設問では、どの学年も理解を深めていた。他教科でも必要な力であり、生活の中でも生かしていけるようにしていきたい。

(2) 課題

- ・学年によって差はあるが、数と計算領域の達成率が全体に低い。
- ・語句や公式、計算の手順など、基礎的な知識・技能が十分に身についていない。つまずきに応じた復習や反復練習を継続して行い、確かな力を定着させたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	達成率+7.7		
第5学年	達成率+1.8	達成率-2.5 (第4学年時)	
第6学年	達成率-8.1	達成率-6.2 (第5学年時)	達成率-5.6 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・殆どの領域の達成率が目標値を上回ったが、「数の相対的な大きさ」「波及的繰り下がりのあるひき算」「三角形の作図」「球の半径を求める計算」の各設問で達成率を下回った。 ・観点別で見ると思考・判断・表現より達成率が低い。基礎的な知識・技能の定着の徹底が課題である。	・どの領域においても、正答率が目標値の+6.7～+16.1（平均+12.3）と上回った。 ・その中で情報の場面の構造を口を使って図で表したり、立式したりする設問でのつまずきが目立った。	・無回答の設問がある児童が殆どおらず、粘り強く課題に取り組もうとする態度が見られた。 ・日常の学習でも、自分の考えの表現や意見交換に意欲的であったり、最後まで意欲的に課題解決に取り組もうとしたりする児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・5年生では、すべての領域で目標値に達している。設問別に見ると、小数の計算での小数点の処理や、わり算の立式につまずきが見られる。 ・6年生では、数と計算領域に大きなつまずきが見られた。公約数・公倍数、面積や速さの計算、割合など、基礎的な知識とそれらを用いる技能の定着が課題である。	・グラフの読み取りはできているが、目的に応じた考察に課題が見られた。 ・二次元表の読み取りや考察、式と図の組み合わせ等、いくつかの条件を組み合わせる順に解決するような問題が苦手である。	・わからないことがあると質問をしたり、ドリルパークなどの問題に真面目に取り組んだり学習への意欲が感じられる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・長さや水のかさ等、実際に測定する経験を通し量感を養うようにする。 ・加法、減法、乗法が用いられる場面では、ブロックや手指などの具体物による操作を行い、演算の意味の理解を図る。 ・基本的な計算が確実に身に付くように、ステップ学習（ドリルパーク）やドリル等で繰り返し練習して習熟を図る。	・問題を最後までよく読み、問われている内容を理解するように考えさせるために、問題文に線を引いたり印をつけさせたり、図を活用する体験を多くして、今後の学習への素地作りをする。 ・生活様式の変化により、お金（硬貨・両替）や時刻と時間などについての知識が乏しい児童が多くいる。一般的と思われる知識も取り上げて確認し、児童の思考につなげる。	・具体物を用いた活動や体験的な活動を多く取り入れたたり、日常生活とのつながりを意識させたりすることで学習への意欲付けをする。 ・導入の際にICT機器を活用して学習の見通しをもたせたり、関連する学習動画を使い興味をもたせたりして学習できるよう工夫する。 ・意欲的に自分の考えを発表できるようペア学習やグループ学習の時間を設定し、少人数指導で個に応じた指導を行う。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・習熟度に応じて、既習事項の振り返りを丁寧に行う。 ・タブレットでのステップ学習（ドリルパーク）やドリル・プリントを活用し、基礎的な語句や公式、計算問題の習熟の時間を多く確保する。	・演算決定の際には□を使って図に表したり、言葉の式を用いたりすることを手掛かりにできるようにする。 ・ペア学習などで自力解決した方法を発表させ、自分の考えを深めたり、他の考えに触れたりして様々な解決方法を学ぶ機会を作る。	・習熟度毎に、児童に応じた課題や資料を準備し、個に応じた指導を行う。 ・算数科で学習したことを他教科で生かしたり、日常とのつながりを意識させたりして学習意欲へつなげる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・既習事項の確認を丁寧に行う。適宜用語や公式などについてのミニテストを行い、定着を図る。 ・タブレットでのステップ学習（ドリルパーク）やドリル・プリントを活用し、基礎的な語句や公式、計算問題の習熟の時間を多く確保する。 ・1 単位時間内に必ず適用問題に取り組ませ学習のまとめを行う。	・グラフでは、ICT機器・児童のタブレット端末を活用して、グラフや図から情報を視覚的に捉えさせる。 ・身近な問題場面や情報を用いて、生活に役立つような考察を行い、必要感や有用性を体感させる。 ・ペア学習などで自力解決した方法を発表し合い、自分の考えを深めたり他の考えに触れたりして様々な解決方法を学ぶ機会を作る。	・少人数指導による、個に応じた指導を行う。既習事項を生かして自力解決する場を授業の中で意識的に設定する。 ・ペア学習やグループ学習で自分の考えを伝え合う活動を取り入れ、発表する際にはノートを電子黒板に映すなど ICT 機器を効果的に活用して意欲的に活動できる工夫を行う。

(様式例)

令和7年度 **科 授業改善推進プラン

大田区立**中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・
- ・
- ・

(2) 課題

- ・
- ・
- ・

数値を直接公開することは避けてください。
例えば、教科の観点ごとに、正答率の平均が目標値の関係を記号（△▽等）で表したり、自校の達成率を比較して上昇、下降をポイントで示したりすることは可能です。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年			
第2学年		(第1学年時)	
第3学年		(第2学年時)	(第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度